

2020 年度広島県高校生英語スピーチコンテストの中止について

審査委員長 中尾 佳行

2020 年度広島県高校生英語スピーチコンテストについて、新型コロナの影響でその開催には不透明感がありましたが、審査委員の間では 6 月当初よりテーマとその実現方法を検討してまいりました。実際そのテーマとその意義付けについてもほぼ定まっておりました。しかし、この状況下での高校の教育状況こそ大事でありますので、これまで参加いただいた高校の先生方には本学国際交流課を通して今年度の参加の可能性を問い合わせてもらい、回答を得ることができました。この時点において、11 月開催のことをお尋ねするのですから、無理もないことですが、参加可能、参加不可能、未定と様々でした。誠に残念ではありますが、「高校生」そして関係の皆様への命を守ることを最優先し、止む無く中止させていただくことになりました。

この 3 年間で振り返りますと、スピーチコンテストはますますレベルアップし、高校生の英語力を鍛えて自らを伸ばしていこうという意気込みを強く感じてきました。2017 年度第 15 回では 26 名ものスピーチ参加者を得ました。テーマは『やり遂げる力』(What have you learned about perseverance and the value of grit?)。高校生諸君は日常的な体験をこの観点から国際的な視野も含みつつ、広く・深く分析していました。過去のこととしてのみではなく、今を鋭く見、また未来の創造へとつなげていくように、パフォーマンスしました。2018 年度 16 回では、19 人の参加者がありました。テーマは”Acting Today to Succeed Tomorrow”。高校生がこの舞台に昇ること自体がまさにこのテーマを体現すること、彼らの将来への一つの貴重な伏線になったでしょう。自分の今の経験をどのように将来に生かしていくか、社会的かつ普遍性のある英知を読み取っていました。2019 年度第 17 回では 17 人の参加者がありました。テーマは”Beyond sushi and jeans: Sharing foreign cultural norms”。海外の文化をいかに工夫して日本の文化に馴染ませることができるか、また日本の文化の素晴らしさをいかに海外に発信できるかが問われました。高校生は日本の文化を海外の文化を通して再評価し、また社会的な通念を認めた上で、自分の経験を織り交ぜ、その価値を広げ、深めていました。

これまでスピーチコンテストのレベルの高さは、高校生の熱意と挑戦意識の高さ、そして日頃からご指導されている先生方の志の高さとご努力のお蔭だと思っています。

次年度の開催は本学の新棟、未来創造館で開催予定です。沢山の発表者を期待しています。また元気にお会いしましょう。